

全農薬  
全国農薬協同組合  
推奨

微生物防除資材 (殺虫剤)

農林水産省登録  
第15000号

# バシレックス 水和剤

バシレックスは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

B.t.菌

# A

*Bacillus thuringiensis aizawai*

(アイザワイ)



## 国内唯一！ 2つの B.t.菌 のダブル効果！！



B.t.菌

# K

*Bacillus thuringiensis kurstaki*

(クルスタキ)

### 有機JAS適合資材

- ◆ 他剤抵抗性コナガなどにも安定した効果
- ◆ 薬害が少なく、収穫前日まで使用OK  
(茶は摘採7日前まで、しいたけ等は幼虫発生期など)
- ◆ 使用回数の制限なし  
(農薬の散布回数にカウントされません)

#### 野菜類

- ・コナガ
- ・アオムシ
- ・ヨトウムシ
- ・ハスモンヨトウ
- ・タマナギン  
ウワバ

#### 樹木類

- ・トビモンオオ  
エダシャク

#### つばき類

- ・チャドクガ



バシレックス 水和剤

### 若齢幼虫期を失せずに散布しましょう！

- ◆ りんご・かき・茶 などにも登録
- ◆ 茶/チャドクガ、シャクトリムシ類 に適用拡大

# 微生物防除資材 (殺虫剤)

# バシレットクス 水和剤

有効成分：バチルス・チューリンゲンシス菌の  
生芽胞及び産生結晶毒素 10.0%  
(力価として 1000B.m.B単位/mg)

性状：類白色水和性粉末  
規格：100g×60袋・500g×20袋  
有効年限：4年

- ◆ 有効成分は自然界に存在する有用細菌
- ◆ 多くの化学農薬と併用、混用が可能

\*使用する前に薬害の有無等を使用者自身が確認、もしくは、現地の指導機関に確認すること。



若齢幼虫期を失せずに  
散布しましょう！

## 【適用害虫と使用方法】

2024年12月末現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	BTを含む農薬の総使用回数
野菜類	アオムシ	1000~	100~300L /10a	発生初期 ただし、 収穫前日 まで	—	散布	—
	コナガ	2000倍					
	タマナギンウワバ	1000倍					
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ	500倍					
りんご	ヒメシロモンドクガ アメリカシロヒトリ ハマキムシ類	1000倍	200~700L /10a	発生初期 ただし、 摘採7日前 まで	—	散布	—
かき	カキノヘタムシガ イラガ類						
さんしょう (果実)	アゲハ類						
茶	チャハマキ チャノホソガ シャクトリムシ類	500倍	200~400L /10a	発生初期 ただし、 摘採7日前 まで	—	—	—
	チャノコカクモンハマキ チャドクガ	500~ 1000倍					
しいたけ (菌床栽培)	ムラサキアツバ	1000倍	100~300L /10a	幼虫発生期	—	被害菌床 全体へ薬液が 滴るまで散布	—
さくら	モンクロシャチホコ	1000倍	200~700L /10a	発生初期	—	散布	—
ブラタナス	アメリカシロヒトリ	1000~ 2000倍					
つばき類	チャドクガ	1000倍					
樹木類	トビモンオオエダシャク	500~ 1000倍					
フェニックス・ ロベレニー							
ストック	コナガ	1000倍	100~300L /10a				
芝	タマナヤガ	1000倍	300mL/m <sup>2</sup>				
	スジキリヨトウ	500~ 1000倍					
	シバツトガ						

### ⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布する。
- 使用に当たっては、展着剤を加用することが望ましい。
- 本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当たっては湿気に注意し、特に使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵する。
- アルカリ性の強い石灰硫黄合剤、ボルドー液などの農薬及びアルカリ性の強い葉面施用の肥料などの混用はさける。
- 本剤は若齢幼虫に有効なので、若令幼虫期に時期を失せず散布する。
- みずいも、みずかね (水掛菜)、せり、クレソン、くわい、じゅんさい、ひし、まこもたけ、れんこん及びわさびに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用する。また、使用后14日間は入水しない。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬効・薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### ⚠ 安全使用上の注意

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にからないようにする。
  - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。

③ 関係機関 (都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等) に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。

- 虫に対する毒性があるので、養蚕主要県及びその他主要養蚕地帯では使用しない。また、養蚕農家、共同飼育場などの周辺では施用しない。また、これら以外の場所でも付近に桑園がある場合は、飛散してかからないように風向等に十分注意して散布する。なお、本剤の使用に当たっては、散布地域の使用規制に従う。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 茶に使用する場合は残臭のおそれがあるので、摘採前7日以内の使用はさける。
- 空中散布には使用しない。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後 (少なくとも散布当日) に小児や散布に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 空袋は圃場などに放置せず適切に処理する。

保管：直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

この印刷物の記載内容は2024年12月末日現在のものです。

2025年1月作成

- ラベルをよく読む
- 記載以外には使用しない
- 小児の手の届く所にはおかない
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する



全国農薬協同組合

東京都千代田区神田東松下町2-3-1



株式会社 エイサーバイオテック

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地